

豊中・サンマテオ姉妹都市

提携ニュース

2008



<http://www.city.toyonaka.osaka.jp/>



<http://www.ci.sanmateo.ca.us/>

豊中・サンマテオ姉妹都市協会
Sister City Affiliation Toyonaka-San Mateo

第38号



サンマテオ市少年野球親善訪問団が来豊!

2007年は豊中市とサンマテオ市、両市の少年野球チームの定期交流試合の年でした。8月16日にキャロル・グループ副市長をはじめとした、サンマテオ市親善訪問団(大人11人・子ども19人)が来豊。8日間の滞在中、さまざまな行事を通して交流を深めました。



民家集落博物館見学



交流会



ホストファミリー対面式



歓迎セレブション



表敬訪問



ハンバーガーショップで昼食



さよならパーティー

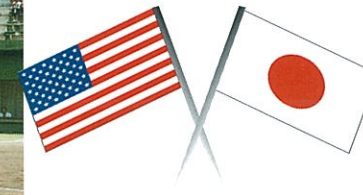
8月16日~23日までの全日程表

日	月日(曜日)	行程
1日目	8月16日(木)	千里体育館に到着 ・ホストファミリーと対面式 ・歓迎セレブション(千里阪急ホテル)
2日目	8月17日(金)	・豊中市役所表敬訪問 ・市役所、日本民家集落博物館見学 ・親善野球第1戦(豊中ローズ球場)
3日目	8月18日(土)	・親善野球第2戦(豊中ローズ球場)
4日目	8月19日(日)	・親善野球第3戦(豊中ローズ球場) ・親善野球第4戦(豊中ローズ球場)
5日目	8月20日(月)	・親善野球第5戦(豊中ローズ球場) ・バーベキュー(内ヶ原スポーツセンター)
6日目	8月21日(火)	・奈良見学
7日目	8月22日(水)	・自由行動 ・さよならパーティー
8日目	8月23日(木)	・大阪国際空港から帰国



少年野球チーム親善交流試合

1979年夏に豊中市少年野球チームが、サンマテオ市を親善訪問して以来、両市の少年野球チームの親善試合交流が続いています。7回目の来豊となった今回は、滞在2日目の8月17日から豊中ローズ球場で全5試合が行われました。



第1試合開始前に両チームによるセレブションが行われました。

豊中ローズ球場の観覧席からは、大勢の市民から、子どもたちの白熱したプレーに盛んな拍手、声援がかけられました。



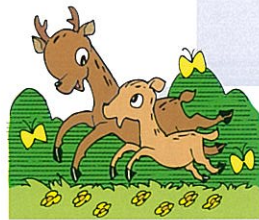
TEAM	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	R	S	H	E				
SAN	5	4	9	1	2	3	7	8	6	PL 1B 2B 3B	3	1	6	2	9	8	7	4
東・北	北	原	田	瀬	田	田	橋	羽	本	野	井	生	橋					



	第1試合	第2試合	第3試合	第4試合	第5試合	総合結果
豊中	8	7	12	1	7	3勝
サンマテオ	0	7	5	4	4	1勝
						1分



奈良見学 NARA



滞在6日目の8月21日、サンマテオ市訪問団と豊中市少年野球連盟関係者が奈良を訪れました。東大寺の大仏、興福寺の五重塔、奈良公園の散策などを楽しみながら、古都奈良の文化に触れるひとときを過ごしました。



第36回 高校生英語弁論大会

THE 36TH ANNUAL ENGLISH SPEECH CONTEST



豊中市長賞	サンマテオ市長賞	国際ソロプチミスト特別賞	優秀賞	優秀賞	審査員特別賞
田中 綾さん ボランティアを とおしての私の経験 梅花高等学校	木埜 由紀子さん 真実を見極める目 北野高等学校	西嶋 遼さん 今日の教育に 欠けているもの 北野高等学校	山本 真帆さん 私のコンプレックス 聖母被昇天学院高等学校	北川 丹菜さん 夢に向かって 千里青雲高等学校	原 草平さん 文字の持つ力 豊中高等学校

2008年1月26日、豊中・サンマテオ姉妹都市協会主催の第36回高校生英語弁論大会がとよなか国際交流センターで開催され、7校16人の高校生の皆さんが参加しました。

豊中市長賞の田中さんは、「ボランティアをとおしての私の経験」という題で、保育園でのボランティア経験で得た、意思の疎通、人と人の絆の大切さなどについて語りました。

サンマテオ市長賞の木埜さんは「真実を見極める目」という題で倒産・偽装などの社会問題を通して、現代社会において自身が正しい判断力を養うことが大切だと論じました。

国際ソロプチミスト特別賞を受賞した西嶋さんは、「今日の教育に欠けているもの」と題し、近年の子どもの学力、表現力やコミュニケーション力の低下を題材に教育制度のあり方を問いました。

審査員は千里金蘭大学教授のジュディ・ガーナントさん、大阪女学院大学教授のブライアン・ティーマンさん、大阪女学院短期大学准教授のウィリアム・クラインさん、当協会監事の川合隆子さんをお願いしました。

大会終了後、審査員からは「発表者のレベルは年々上がってきていますが、皆さんのスピーチの内容、発音はすばらしく、点数も僅差で難しい審査でした。本当に素晴らしいでございました。」との講評をいただき、和やかな雰囲気の中、表彰式が行われました。

なお、豊中市長賞受賞の田中さんと、サンマテオ市長賞受賞の木埜さんは、今年8月に親善使節としてサンマテオ市に派遣される予定です。

※国際ソロプチミスト特別賞は、国際ソロプチミスト豊中・千里からの寄付金により設けられています。

親善使節としてサンマ

テオを訪問しました！

豊中市長賞受賞 野村 瞳さん



今回豊中の姉妹都市のサンマテオに一週間留学させていただきました。

コンテストで実際に賞をいただいてからも、自分がアメリカに行けるという実感がなくて、どうなるかと思っていましたが、無事に一週間でサンマテオで過ごすことが出来ました。このような機会を与えてくださった姉妹都市協会、豊中市とサンマテオ市に感謝しています。

出発する前日までは、受験生でもあったので夏期講習で勉強漬けだったので、ホストファミリーやサンマテオのことをゆっくり考えて荷物やお土産をトランクに詰める時間もあまりないまま、次の瞬間にはもう出発というあわただし

い中、サンフランシスコの空港に着いていたという感じでした。

ホストファミリーはサンマテオの市立図書館で司書さんとして働いているヴァージニアで、一人で私たち二人（和田ひかるさんと私）をいろんなところに連れて行ってくれました。有名なスタンフォード大学や日本とは違った雰囲気でもとてもきれいな海岸、有名なチョコレート工場、それからもちろんサンマテオ市内や、ヴァージニアの職場である改装されて真新しい市立図書館にも。忙しいくらいにいろいろなところへ連れて行ってくれました。自分の話や色々な説明をわかりやすい英語でしてくれて、こちらから何か言おうとした時にはとっても真剣に聞こうとしてくれました。

そして、実際にアメリカに行って一番驚いたのは“サイズ”と“スケール”の大きさでした。

“サイズ”とは、レストランでの一人前の量の多さです。話には聞いていましたが、想像を絶する大きさと量でした。晩ご飯は外で食べることが多かったのですが、最後まで“アメリカ人の一人前”を完食することは出来ずじまいでした。

そして、“スケール”は、広さと自然の雄大さです。一週間のステイの内の一日はヨセミテ国立公園に泊まったのですが、その自然の雄大さ、すごさは本当に言葉では説明できないほど美しいものでした。景色はパノラマ写真を見ているようで、山を見ていると映画が何かの中に入り込んだような、今までに見たことのない壮大な美しさでした。最も印象に残っている場所の一つです。大学生になったらまた来たいと思いました。

そして、もう一つ印象に残っているのは日本に帰る直前、空港に向かう前に見せてもらったサンマテオ市立公園の中にある日本庭園です。日本庭園についてはサンマテオ市長を表敬訪問した際にも聞いていたのですが、直接庭園内を見て、びっくりしました。庭園の中はどう見ても日本にしか見えなかったからです。“日本”庭園と言っても“日本に似せた”庭園だろうと私は勝手に思っていたのですが、日本から石灯籠や五重塔を運んできて、池には鯉がたくさん泳いでいて、日本人の庭師さんが手入れをしておられる本物の純日本庭園でした。かなり昔から、日本との交流が続いていることを物語っているようでした。

それ以外にも、ほとんど毎日が小旅行のような一週間でした。サンマテオの姉妹都市協会や市役所関係の人たちが順番に案内をして下さって、たくさんの人と話す機会がありました。サンフランシスコに連れて行ってくれたディマテオさん一家、ダウンタウンまで買い物に付き合ってくれたマリッサ、モンレーの水族館まで車を出してくれたクリスティーナとジェフリー。ヨセミテへのバスツアーに仕事を抱えて同行してくれたメアリー。本当にみんなに感謝の気持ちでいっぱいです。こうしたサンマテオの方々の親身な対応のおかげで、本当に素晴らしい経験をさせていただきました。そしてこれからは英語を使って国際交流が出来るようにもっともっと勉強しようと思っていました。本当にありがとうございました。



サンマテオ市長賞受賞 和田 ひかるさん

2007年8月、サンマテオ市に親善使節として派遣されました。サンフランシスコ空港に着いた瞬間から本物のmelting potを肌で感じる事ができ、そこから始まる一週間に思いを馳せたことを今でも覚えています。

アメリカでの一週間は本当に刺激的でした。ゴールデンゲートブリッジやユニオンスクエア、ヨセミテ・・・毎日いろんな場所に連れて行ってもらいました。どこが一番よかったかと尋ねられてもそれぞれを比較することなんてできない程、どこに行っても何をしても楽しかったです。その理由のひとつはやっぱりサンマテオの人達のおかげでしょう。みんな本当にあたたかくて、一週間という短い期間でこれ程打ち解けられるものなのだな、と感動しました。

私はコンテストで、当時社会問題になっていたいじめによる自殺を、病気で長く生きることのできなかつた友達の話を交えて論じ、命の大切さを訴えました。この友達の「死」という経験を通して、自分は「生かされて」いると感じるようになったのですが、それならばどう生きていくべきなのだろうか、と考えさせられるようにもなりました。自分にもいつか確実に訪れる「死」。それまでの過程を大切にすることが充実した人生を送ることにつながるのではないのでしょうか。それは私にとって異質なものととの出会いでした。多様な価値観を持った人と出会い深く交わること、その出会いの量と質が、限りある人生を豊かにしてくれるのだと思います。そういった意味で、このサンマテオでの出会いはかけがえのないものでした。先にも述べたように、本当にみんなと仲良くなりました。（実際に今でもkeep in touchをしています！）

また、このコンテストで感じたことは、英語は「ツール」であって大切なのは、何を話すか何を伝えるか、ということです。ホストのヴァージニアとは毎日、ジョークのような話から宗教やテロといった話までしました。



日本に帰ってきてから英語が上達した、と多くの人に言ってもらえたのですが、これは自分が伝えたいという意思が相手に伝わったのだと思います。

グローバル化に伴い、欧米の生活は比較的日本に伝えられているので、行く前の想像と向こうでの実際の生活はそれ程大差なかったのですが、それでもやはり毎日驚きや発見がありました。特にサンマテオには日本が、それも豊中が、深く根付いていました。もちろんサンマテオの全てを見た訳ではないのですが、これは大変嬉しい発見でした。今回このような貴重な経験ができたのも、豊中とサンマテオが今まで築き上げてきたもののおかげです。これからも両市が良い関係を続けていくことを願っています。このような素晴らしい体験の機会を与えていただいたこと、本当に感謝しております。



新市長はキャロル・グルームさん

2007年12月にサンマテオ市議会の改選があり、
新市長はキャロル・グルームさんに決定しました。
新しい人事は以下のとおりです。



■ 市長：キャロル・グルーム	Carole Groom
■ 副市長：ブランド・グロット	Brandt Grotte
■ 議員：ジャン・エプスタイン	Jan Epstein
■ 議員：ジョン・リー	John Lee
■ 議員：ジャック・マシューズ	Jack Matthews

